

親子聖書日課

[日]聖所に7つの燭台に絶えず火を灯すために、「純粋な油」を補給する必要があります。それは聖霊の油です。聖霊に満たされるなら、祈りと愛の火が燃え、暗闇の中にいる人々を救い出せるのです。この聖霊の油こそ、教会に必要です。

[月]主は祭司の服にも細かい計画を示されました。天幕を神の栄光の場所にするために相応しい服装が求められました。「威厳と美しさを添える聖なる祭服」はキリストを着ることです。主に従って生活するなら、ベストドレッサーになれます。

[火]祭司は「主の聖なる者」と彫った純金の印をかぶり物の前につけました。こんな印は自分に合わないと思ってはいけません。私達はすでに神に献げられた聖なる献げ物、神の祭司です。この印が付いているつもりで、主に仕えましょう。

[水]祭司として主に仕えるためには、聖別が必要です。それは難行苦行することではなく、ただ贖罪と焼き尽くす献げ物をするだけです。私達にとって罪のいけにえとなられた主イエスから赦しを頂き、礼拝の度ごとに全き献身を表しましょう。

[木]祭司は7日間の任職式で聖別されたわけではありません。それから毎日、朝に夕に献げ物をしたのです。私達も毎日、朝に夕にみ言葉を聴き、祈りを捧げてこそ、主に用いられます。聖書日課に励んで、新たな主の力を頂きましょう。

[金]自分を贖うために主に納める命の代償金は、全ての者が一律に納めました。富める者も貧しい者も神の前では同じ価値があり、罪人であることに変わりはありません。どんな人も皆、同じように主イエスの血によって贖われているのです。

[土]祭司は奉仕の度に手足を洗いました。これは不衛生だというよりも、世俗の生活から心を清めるためでした。教会に世俗的な価値観や感覚を持ち込んで、霊的な死を招くことがないように、「守るべ不変の定め」は皆で大切にしましょう。



©fumira

NO.1549 2018.6/3-9 名前

	聖書	問題	答え
日	出エジプト 27:1-21	オリーブを砕いて取った何をともしびに用いましたか。	
月	28:1-30	アロンに威厳と美しさを添える何を作らねばなりませんか。	
火	28:31-43	額当ての上の印章には、何と彫られていましたか。	
水	29:1-25	雄牛の肉と皮は宿営の外で焼き捨てる、これは、何の献げ物ですか	
木	29:26-46	主はその場所で、あなたたちと会い、あなたにどうされますか。	
金	30:1-16	各自は何を主に支払わなければなりませんか。	
土	30:17-38	死を招くことのないために、手足をどうしますか。	
感想と祈りの課題			